

第28期事業報告書

平成20年10月1日 ▶ 平成21年9月30日

株式会社システムソフト



証券コード：7527



代表取締役社長

吉尾 春樹

CONTENTS

株主の皆様へ	P.1
連結財務データ	P.3
単体財務データ	P.4
おかげさまで30周年	P.5
会社の概況	P.6
株式情報	P.6
株主メモ	裏表紙

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、常日頃からのご支援・ご鞭撻に厚く御礼申し上げます。

当社は、創業以来、「IT技術がお客様に何を生み出すのか」というテーマを持ち続け、時代に沿ったソリューションサービスを提供することでお客様に奉仕してまいりました。おかげさまで、金融・生損保・通信関連分野など、業界業種の垣根を越えてお客様に長年ご愛顧いただき、この度、平成21年9月に、設立30周年を迎えることができました。株主の皆様には、平成8年11月の上場以来これまでご支援いただきましたことにあらためて御礼を申し上げます。

第28期（平成20年10月1日から平成21年9月30日まで）の決算は、企業投資が慎重であったこと、採算性が低い不動産ポータル事業を終了したことにより、売上高は前年同期から大幅に減少しましたが、経営の効率化を進めた結果、営業利益は前年同期から改善いたしました。これにより、当期純利益につきましても、黒字転換を達成しております。

当期の経営効率化は、厳しい経済環境の中、確実に収益を確保できる事業構造への転換を進めるべく、プロジェクト毎の開発進捗・原価管理の徹底、汎用的な開発ツールの整理、社内ノウハウの蓄積など、より効率的な開発体制の構築に努めてきたものです。

次期以降も引き続き厳しい経済状況が予想されますが、当社は環境の変化を的確に捉え、システム開発事業における重点分野への人員シフトや収益性の向上、人材の育成に取り組み、当社の事業の発展および収益の拡大に努めてまいり所存です。

株主の皆様におかれましては、引き続きのご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

■事業の概況

当期におきまして、当社グループは、従来からのお客様との関係を強化するとともに、新規顧客開拓に積極的に取り組み、収益の規模の拡大と安定に取り組んでまいりました。

システム開発事業におきましては、親会社 株式会社アパマンショップホールディングスのグループ全体に係る基幹システムの大規模な開発が運用保守フェーズに移行したことに伴い、近年注力してきた親会社に係る不動産分野のシステム開発から、旧来から得意としている金融・生損保・通信関連分野へと、重点分野の再シフトに取り組んでまいりました。

通信関連のお客様においては、新たな受注を獲得するなど比較的順調に推移いたしましたが、金融・生損保関連のお客様においては景況悪化の影響を受け、システム開発の規模の縮小や受注金額の引下げ要請が発生いたしました。その結果、システム開発事業全体における売上高は、前年同期に対して451百万円減少し、932百万円となりました。

不動産ポータル事業は、連結子会社 株式会社リビングファーストが主体となり、不動産ポータルサイト「CatchUp（キャッチアップ）」において、新築マンション等の不動産物件情報の広告収入による事業を展開してまいりましたが、金融不安に端を発した不動産業界の事業環境悪化を受け、近年では広告物件数の減少など、非常に厳しい環境にありました。

その中で、事業内容の徹底的な見直しや業務改善を進めてまいりましたが、平成21年6月30日をもって、株式会社リビングファーストの全株式を譲渡し、当社グループにおける不動産ポータル事業を終了いたしました。

当期における不動産ポータル事業の売上高は、外部環境がより厳しい状況であったこと、同事業による売上計上期間が第3四半期までであったことにより、前年同期に比して172百万円減少し、213百万円となりました。

以上の結果、当期における全体の売上高は1,146百万円（前年同期比：623百万円減）、営業利益は34百万円（前年同期比：11百万円増）、経常利益は38百万円（前年同期比：10百万円増）、当期純利益は14百万円（前年同期は411百万円の損失）となりました。

売上高は、前年同期から大幅に減少しましたが、営業利益は前年同期から改善いたしました。また、当期純利益につきましても、前期までは不動産ポータル事業への先行投資や含み損を抱える個々の資産を減損処理したことにより3期連続で損失を計上してまいりましたが、当期において黒字転換を達成しております。

■次期の取り組み課題

当社が属する情報サービス産業におきましては、景気の不透明感を受けて、企業のIT投資予算の引き締めが次期においても続くことが予想されます。当社におきましては、重点分野として取り組んでいる金融・生損保・通信関連分野へ一段と注力し、お客様との信頼関係を強化して安定した売上を確保するとともに、これまで蓄積したシステム開発に関する技術力、業務ノウハウを活かした新たな取り組みも積極的に進めてまいります。

また、顧客ニーズの変化に柔軟に対応できる人材の育成に努め、お客様の評価や信頼を得ることにより、業界環境が厳しい中でも利益を確保できる強固な体制を構築してまいります。これにより収益の拡大を目指してまいります。

連結財務データ

Consolidated Financial Statement

単体財務データ

Non-Consolidated Financial Statement

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成20年10月1日から平成21年9月30日まで	平成19年10月1日から平成20年9月30日まで
売上高	1,146,520	1,770,038
売上原価	828,665	1,311,040
売上総利益	317,855	458,998
販売費及び一般管理費	282,875	435,019
営業利益	34,979	23,978
営業外収益	34,048	34,493
営業外費用	30,482	29,965
経常利益	38,545	28,506
特別利益	1,287	—
特別損失	19,802	432,752
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	20,030	△404,246
法人税、住民税及び事業税	5,910	7,150
当期純利益又は当期純損失(△)	14,119	△411,396

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当連結会計年度	前連結会計年度
	平成20年10月1日から平成21年9月30日まで	平成19年10月1日から平成20年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	72,652	120,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	29,347	△370,452
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,990	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	105,991	△249,707
現金及び現金同等物の期首残高	288,292	538,000
現金及び現金同等物の期末残高	394,283	288,292

貸借対照表

(単位：千円)

科目	当事業年度	前事業年度
	平成21年9月30日現在	平成20年9月30日現在
(資産の部)		
流動資産	1,002,756	987,452
固定資産	961,971	992,324
資産合計	1,964,727	1,979,776
(負債の部)		
流動負債	113,316	166,411
固定負債	133,238	129,511
負債合計	246,554	295,922
(純資産の部)		
株主資本	1,716,608	1,677,377
資本金	1,500,000	2,147,442
資本剰余金	185,381	368,261
利益剰余金	39,240	△830,321
自己株式	△8,014	△8,004
評価・換算差額等	1,565	6,477
その他有価証券評価差額金	1,565	6,477
純資産合計	1,718,173	1,683,854
負債及び純資産合計	1,964,727	1,979,776

損益計算書

(単位：千円)

科目	当事業年度	前事業年度
	平成20年10月1日から平成21年9月30日まで	平成19年10月1日から平成20年9月30日まで
売上高	1,014,324	1,645,847
売上原価	773,531	1,229,586
売上総利益	240,792	416,260
販売費及び一般管理費	194,675	179,739
営業利益	46,117	236,520
営業外収益	37,566	37,857
営業外費用	30,035	29,281
経常利益	53,648	245,096
特別利益	400	—
特別損失	9,676	1,069,348
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	44,372	△824,251
法人税、住民税及び事業税	5,132	6,070
当期純利益又は当期純損失(△)	39,240	△830,321

連結株主資本等変動計算書

(当連結会計年度 平成20年10月1日から平成21年9月30日まで)

(単位：千円)

科目	株主資本					評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
平成20年9月30日残高	2,147,442	368,261	△805,200	△8,004	1,702,497	6,477	6,477	1,708,975
連結会計年度中の変動額								
資本金から剰余金への振替	△647,442	647,442	—	—	—	—	—	—
欠損填補	—	△830,321	830,321	—	—	—	—	—
当期純利益	—	—	14,119	—	14,119	—	—	14,119
自己株式の取得	—	—	—	△9	△9	—	—	△9
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△4,912	△4,912	△4,912
連結会計年度中の変動額合計	△647,442	△182,879	844,441	△9	14,110	△4,912	△4,912	9,198
平成21年9月30日残高	1,500,000	185,381	39,240	△8,014	1,716,608	1,565	1,565	1,718,173

(注) 1 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
2 連結貸借対照表につきましては、平成21年6月30日付で連結子会社であった株式会社リビングファーストの全株式を譲渡し、当連結会計年度末では子会社を有していないため、作成しておりません。

株主資本等変動計算書

(当事業年度 平成20年10月1日から平成21年9月30日まで)

(単位：千円)

科目	株主資本							評価・換算差額等		純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	繰越利益剰余金						利益剰余金合計
平成20年9月30日残高	2,147,442	22,702	345,559	368,261	△830,321	△830,321	△8,004	1,677,377	6,477	6,477	1,683,854
事業年度中の変動額											
資本金から剰余金への振替	△647,442	—	647,442	647,442	—	—	—	—	—	—	—
準備金から剰余金への振替	△22,702	—	22,702	—	—	—	—	—	—	—	—
欠損填補	—	—	△830,321	△830,321	830,321	830,321	—	—	—	—	—
当期純利益	—	—	—	—	39,240	39,240	—	39,240	—	—	39,240
自己株式の取得	—	—	—	—	△9	△9	—	△9	—	—	△9
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	△4,912	△4,912	△4,912
事業年度中の変動額合計	△647,442	△22,702	△160,177	△182,879	869,562	869,562	△9	39,231	△4,912	△4,912	34,319
平成21年9月30日残高	1,500,000	—	185,381	185,381	39,240	39,240	△8,014	1,716,608	1,565	1,565	1,718,173

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

おかげさまで 30 周年

Our History ~ 30th Anniversary

1979年9月

START

コンピュータソフトウェア開発会社として設立

1983年11月

ゲームソフト「ロードランナー」(PC-9800シリーズ対応)を発売

1983年12月

PC-9800シリーズのハードの内容を説明した書籍「PCテクノウ9800」を発売、5万部以上の売上

1985年11月

大ヒット作ゲームソフト「大戦略シリーズ」の第一弾「現代大戦略」(PC-9800シリーズ対応)を発売

1987年9月

Quark社とApple社Macintosh向けソフトウェア日本語版開発・国内独占販売契約を締結以降、Symantec社、Macromedia社、Adobe Systems社等と取引

1990年12月

学術的研究段階であるWIDEプロジェクトに参加、日本国内でのインターネット立ち上げにかかわる

1996年11月

日本証券業協会(現ジャスダック証券取引所)に株式を公開

1998年11月

100%子会社(当時)株式会社システムソフト・プロダクション設立、ゲームソフト事業を移管

2000年3月

携帯電話iモード向けプロ野球速報システムを稼働

2000年10月

銀行向け顧客情報システムを稼働

2001年3月

ソリューションサービスにより注力するため、ナスビ株式会社と合併、KDDI研究所、三井住友海上火災保険向けシステム開発を展開

2004年10月

私立大学ホームページで、コンテンツマネジメントシステムを導入、情報公開システムの開発を本格的にスタート

2005年11月

アバマンショップグループの傘下で、不動産業界向けシステム開発をスタート

2006年7月

不動産ポータルサイトCatchUpをオープン、ポータルサイト構築・運営事業を展開

2009年9月

設立30周年を迎える

金融、生損保、通信、不動産など、これまでの経験を活かし、得意分野に今後注力

会社の概況

Corporate Data

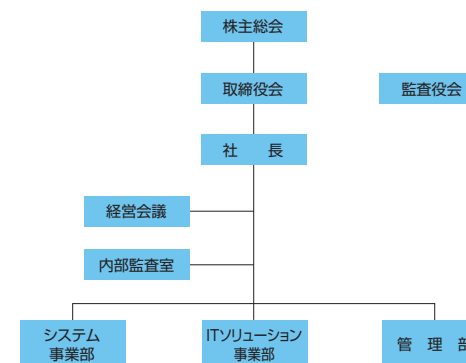
会社の概要

商号 株式会社システムソフト
 設立 昭和54年9月
 代表者の氏名 吉尾 春樹
 決算期 9月30日
 従業員数 90名(平成21年9月30日現在)
 主要な事業所 本社(福岡市中央区)
 芝オフィス(東京都港区)

役員(平成21年12月17日現在)

取締役会長 大村 浩次
 代表取締役社長 吉尾 春樹
 取締役 石川 雅浩
 取締役 緒方 友一
 常勤監査役 福井 武義
 監査役 川森 敬史
 監査役 淵ノ上邦晶
 監査役 平山美智子

組織図(平成21年12月17日現在)



株式情報

Stock Information

株式の状況(平成21年9月30日現在)

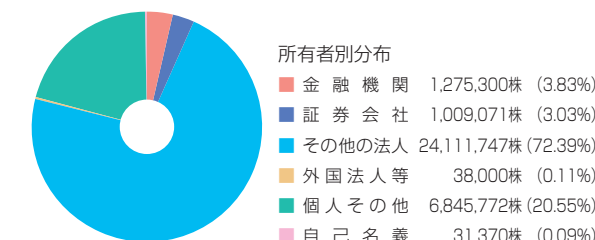
発行可能株式総数 35,763,100株
 発行済株式総数 33,311,260株
 株主数 2,056名

大株主の状況(平成21年9月30日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
株式会社アバマンショップホールディングス	23,854,700株	71.67%
日本証券金融株式会社	1,064,200	3.19
株式会社SBI証券	594,300	1.78
丸山三千夫	466,000	1.40
山口茂樹	260,000	0.78
株式会社三井住友銀行	189,000	0.56
野村證券株式会社	165,200	0.49
小泉章代	138,200	0.41
小泉信一	122,200	0.36
森川泰典	105,400	0.31

(注) 出資比率は自己株式(31,370株)を控除し、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。

株式分布状況(平成21年9月30日現在)



事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会 毎年12月開催
基準日 定時株主総会 毎年9月30日
期末配当金 毎年9月30日
中間配当金 毎年3月31日
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
【郵便物送付先】
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
【電話照会先】
☎ 0120-176-417

公告の方法 当社のホームページに掲載いたします。
<http://www.systemsoft.co.jp/ir/index.shtml>
やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所 ジャスダック証券取引所（証券コード7527）
単元株式数 100株

【株主に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。